

平成16年度事業報告書

第1 事業概況

1. 選手強化育成に関する事業

(1) ナショナルチームの強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子		平成16年6月14日～6月19日	3	19	三重県鈴鹿市
		平成16年7月24日～7月29日	3	11	三重県鈴鹿市
	3	平成16年10月7日～10月12日	4	7	三重県鈴鹿市
	4	平成16年11月14日～11月20日	4	7	タイ・チェンマイ
	5	平成16年12月1日～12月4日	3	6	東京都北区、千葉県成田市
	6	平成17年3月7日～3月12日	3	16	三重県四日市市
女子		平成16年6月28日～7月3日	4	12	広島県広島市
		平成16年7月24日～7月29日	3	13	三重県鈴鹿市
	3	平成16年10月7日～10月12日	3	7	三重県鈴鹿市
	4	平成16年11月14日～11月20日	3	7	タイ・チェンマイ
	5	平成16年12月1日～12月4日	3	6	東京都北区、千葉県成田市
	6	平成17年3月6日～3月11日	3	18	広島県広島市

(注1) 男子・女子ともに第4回の合宿は、第5回アジア選手権大会に向けて大会会場での日本選手団の合宿である。

(注2) 2～5回は、男女合同合宿である。

(注3) 印は(財)日本オリンピック委員会の委託(2,056,000円)あり。

(2) ジュニア選抜強化チーム(ジュニアナショナルチーム)の強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	1	平成16年4月27日～5月2日	3	18	三重県四日市市
	2	平成17年3月7日～3月12日	3	20	三重県四日市市
女子	1	平成16年10月1日～10月6日	3	18	広島県広島市
	2	平成17年3月9日～3月14日	3	19	広島県広島市

(3) 強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。

アジア選手権大会予選	横江 忠志 西田 豊明 北本 英幸 斉藤 広宣
	渡部 政治 若梅 明彦 若梅 明彦 神崎 公宏
	小野寺 剛 中本 裕二 林 三千夫
全日本シングルス選手権大会	斉藤 広宣 渡部 政治 若梅 明彦 中本 裕二
全日本高校選手権大会	小野寺 剛
全国中学校大会	中本 裕二
全日本社会人選手権大会	北本 英幸 斉藤 広宣 渡部 政治 若梅 明彦
全日本ジュニア選手権大会	小野寺 剛
全日本選手権大会	横江 忠志 西田 豊明 北本 英幸 斉藤 広宣
	渡部 政治 若梅 明彦 若梅 明彦 神崎 公宏
	小野寺 剛 中本 裕二 林 三千夫
全日本インドア選手権大会	北本 英幸 渡部 政治 若梅 明彦

2. 指導者養成に関する事業

(1) 全国高体連ソフトテニス専門部との共催で全国高等学校指導者研修会を次のとおり実施した。

- ・期 日 平成16年11月26日(金)～27日(土)
- ・場 所 東京簡易保険郵便年金会館「ゆうぽうと」
- 参加者 日本連盟 笠井達夫(専務理事) 瀬戸幹男(事務局長)
- 川上晃司(ナショナルチーム・トレーナー)
- 高体連関係者 60名

・研修内容

1日目

- 1) 「主催者あいさつ」朝倉文人(担当理事・高体連部長)
- 2) 研究討議
 - 強化事業について
 - 普及事業・審判技術について
 - 外部指導者について
- 3) 講演
 - 「年間を通じたナショナルチームの活動からチーム強化を考える」
 - 講師 川上晃司(スポーツインテリジェンス代表)

2日目

- 4) 日本連盟との懇談
 - 長期基本方針について
 - 競技者育成プログラムについて
 - 指導者ハンドブックについて

(2) (財)日本体育協会公認 ソフトテニスC級コーチ養成講習会は公認スポーツ指導者制度改定及び講習内容を精査するため、16年度は実施せず。

(3) 地域スポーツ指導者養成事業

ア.C級スポーツ指導者養成講習会専門科目開催(東京34名、山梨12名、静岡14名、長崎45名)

3. 地域グループ育成に関する事業

各支部に対し、会員登録(一般)の10%を還元し、地域クラブ・ジュニアクラブの育成等の充実を図った。

また、各支部に対しソフトテニスの日・中学生大会・レディース大会・指導者バンクの補助を行った。

4. 国内競技会に関する事業

別表1のとおり諸大会を実施した。

(注)別表1(P34~36)の内容参照

5. 地域における競技会に関する補助事業

9地区選手権大会、地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。

6. 公認審判員制度に関する事業

(1) マスターレフェリー88名を認定した。 マスターアンパイヤー29名を認定した。

(2) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

1 級	新 規	1 5 3
	更 新	2 6 2
2 級	新 規	5 , 4 9 9
	更 新	4 , 8 2 3
	高 校 生	2 0 , 2 4 6
ジュニア		1 0 , 7 8 7

(注)都道府県別認定者掲載数は別表2(P37)に掲載

参考:過去5年間の実績

(数値:名)

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
1 級	405	328	405	304	410
2 級	7,567	7,434	8,821	11,845	9,657
高 校 生	9,192	8,548	10,572	10,940	14,533
ジュニア	5,504	7,577	9,060	9,247	11,931

(4) 1級審判員の検定会と研修会を、次のとおり実施した。

	実施期日	会場	参加者(名)
検定会	平成17年1月8日～9日	東京体育館	45
	平成17年1月29日～30日	阿倍野スポーツセンター	51
研修会	平成17年1月22日	海老名市立中央公民館	52
	平成17年2月6日	秋田テルサ	34
	平成17年2月6日	徳島市B&G海洋センター	25
	平成17年2月12日	福山市体育館	37
	平成17年2月13日	大府市民体育館	23
	平成17年2月20日	宮崎県総合運動公園合宿所	25
	平成17年2月26日	富山県総合体育センター	35
	平成17年2月27日	光華中・高等学校体育館	24

(5) 競技規則書を27,613冊と英文ルールブック2冊を頒布した。

採点票8,640冊・オーダー用紙1,143部を頒布した。

7. 技術等級制度に関する事業

(1) 名誉指導員79名を認定した。

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
人数	2	15	6	6	243

(2) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

	マスター	EX	S-Ex	SP	S-SP	1級	2級	3級	4級	計
申請	2	95	13	270	13	517	1,026	814	3,560	6,389

(注) 都道府県別認定者数は別表3(P38)に掲載

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
人数	3,268	5,543	5,750	5,666	6,130

8. 用具・施設の公認に関する事業

(1) ラケットの証紙493,115枚 ネット証布2,800枚を頒布した。

参考：過去5年間の実績 (数値：枚)

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
ラケット証紙	410,951	414,990	517,400	612,100	498,070
ネット証布	3,700	3,300	3,000	3,800	4,200

(2) 5社35種類のラケットを公認した。